

**製品名: TIMP1 (9Y15) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe18949**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.26mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:500
分子量	23kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TIMP1
別名	EPO; EPA; TIMP1; CLGI;
遺伝子 ID	7076.0
SwissProt ID	P01033
免疫原	ヒト TIMP1 の組み換えタンパク質

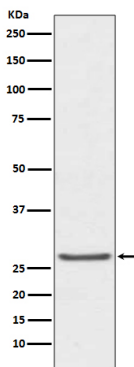
**背景**

メタロプロテアーゼ（コラーゲナーゼなど）と複合体を形成し、その触媒亜鉛補因子に結合して不可逆的に不活性化します。また、in vitro で赤血球生成を媒介しますが、IL-3 とは異なり、種特異的であり、ヒトおよびマウスの赤血球前駆細胞のみの成長と分化を刺激します。コラーゲナーゼなどの標的メタロプロテアーゼと 1 対 1 の複合体を形成し、その触媒亜鉛補因子に結合して不可逆的に不活性化するメタロプロテアーゼ阻害剤です。MMP1、MMP2、MMP3、MMP7、MMP8、MMP9、MMP10、MMP11、MMP12、MMP13、および MMP16 に作用します。MMP14 には作用しません。また、細胞分化、移動、および細胞死を制御する成長因子として機能し、CD63 および ITGB1 を介して細胞シグナル伝達カスケードを活性化します。インテグリンシグナル伝達において役割を果たす。in vitro において赤血球生成を媒介するが、IL3 とは異なり、種特異的であり、ヒトおよびマウスの赤血球前駆細胞のみの増殖と分化を刺激する。

## 研究分野

心血管系

## 画像データ



ヒト前立腺癌溶解物中の TIMP1 発現のウェスタンブロット分析。